

## 平成20年度 熊本県CALS／EC推進協議会 議事録

1. 日時 平成21年1月14日(水) 午後1時30分から午後3時35分
2. 場所 県庁行政棟新館2階 AV会議室
3. 出席者 別紙出席者名簿参照
4. 議事次第

- (1) 開会及び挨拶

- (2) 報告事項

- 1) 平成20年度推進体制及び協議会名簿について
- 2) 熊本県CALS／EC基本構想における整備スケジュールについて
- 3) 平成19年度推進協議会議事事項への対応状況について
- 4) 平成20年度幹事会議の協議結果について

- (3) 協議事項

- 1) 熊本県CALS／EC推進協議会規約別表の改正について
- 2) 平成21年度の取り組み(案)について
- 3) 熊本県CALS／EC推進協議会行動計画について

- (4) その他

九州地方整備局におけるCALS／ECの現状と課題について

- (5) 閉会

5. 議事録 別紙議事録参照

平成20年度 熊本県 CALS/EC 推進協議会出席者名簿

所属・役職		氏名	出欠
会長	熊本県土木部長	松永 卓	
副会長	熊本県土木部次長	天野 雄介	
	(社)熊本県建設業協会会長	味岡 正章	代理:藤本
委員(県)	地域振興部 情報企画課長	松永 正男	代理:上田
	農林水産部 農村計画・技術管理課技術管理室 農林水産技術管理監	山本 一登	
	土木部 監理課長	鷹尾 雄二	
	土木部 土木技術管理室長	田口 覺	
委員 (市町村)	市長会代表	田口 信夫 (宇土市長)	
	町村会代表	荒木 泰臣 (嘉島町長)	代理:宮川
委員(業界)	(社)熊本県測量設計・建設コンサルタンツ協会会長	浦上 一成	代理:大森
	(社)熊本県地質調査業協会理事長	川元 久幸	
	(社)熊本県建築士事務所協会会長	古川 裕久	代理:南
	熊本県土地改良事業団体連合会 常務理事	花谷 良助	
	熊本県森林組合連合会 代表理事会長	松村 昭	代理:高木
委員 (公益法人等)	(財)熊本県建設技術センター 理事長	松原 茂	
アドバイザー	国土交通省九州地方整備局企画部 技術管理課 技術管理課長	久野 隆博	代理:掛田
	熊本大学大学院 自然科学研究科 教授	小林 一郎	
	熊本県立大学総合管理学部 総合管理学科 教授	桑原 隆広	欠席
事務局	熊本県土木部土木技術管理室	高永 文法 宮崎 公男 池田 文廣 後藤 直美 西口 栄喜 西本 直次郎	

## 平成20年度熊本県CALS／EC推進協議会議事録

時間	議事次第番号	項目	報告・協議すべきこと	協議したこと	協議した結果	担当者
13:30	1	開会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料確認</li> <li>●会議スケジュールの確認</li> <li>●推進協議会内容の公開および、議事録をホームページに掲載する旨を説明</li> </ul>			進行 (宮崎)
		挨拶	<p>(挨拶要旨)</p> <p>電子入札それから電子納品ともに本年度、本格運用を開始したところでございます。</p> <p>今後につきましては市町村のほうにも事業を拡大し、電子化によるメリットが県全体に波及することを目指して各市町村支援にも力を入れたいと考えているところでございます。</p> <p>電子入札につきましては、現在、熊本市とシステムの共同利用を行っておりまして、他の市町村にも共同利用を呼びかけているところでございます。</p> <p>本年度は、宇土市さん南関町さんから共同利用システムへの参加申込みをいただき、平成23年度までに、参加の意向を表明されております35市町村が順次参加される予定でございます。</p> <p>電子納品については電子納品保管管理・情報交換共有システムを、本年2月中の稼働開始にむけて作業を進めております。また、昨年末に市町村の電子納品支援のためのワーキングを設置しておりまして、電子納品導入について支援を進めていく予定です。</p>			挨拶 会長 (松永)

## 平成20年度熊本県CALS／EC推進協議会議事録

時間	議事次第番号	項目	報告・協議すべきこと	協議したこと	協議した結果	担当者	
	2	報告事項					議事進行 (高永)
13:33	(1)	平成20年度推進協体制及び協議会名簿について	資料1(p1～2ページ) ●熊本県CALS/EC推進体制及び協議会名簿 ●熊本県CALS/EC推進協議会メンバー紹介		→了解	事務局 (池田)	
13:41	(2)	熊本県CALS／EC基本構想における整備スケジュールについて	資料1(p3～4) ●整備スケジュール概要 ●達成状況と今後の見通し	<p>委員：熊本県建設技術センター代表 スケジュールについてお尋ねします。電子入札は県と熊本市は平成20年度より本格運用されておりますが、熊本市の電子納品はどのようなのでしょうか。 →事務局 9月2日に行ったアンケートでは、まだ実施していないと回答をいただいております。</p> <p>委員：熊本県建設技術センター代表 熊本県が本格運用された中で、どんな課題があるのかお尋ねいたします。 →事務局 電子入札につきましては特に問題点はありません。移動コストの縮減や入札事務の軽減など効果が発生している状況です。 電子納品につきましては、今確認できている問題点といたしまして、竣工検査時に特に時間がかかっています。 また、CADの図面作成も従来の手書きに比べたら手間取っているようです。 今後、竣工検査では本年度の実施結果を検証し対応策を検討していきたいと考えております。 CADにつきましては図面作成の効率化を図るため研修をおこなっております。今後も続けていきたいと考えております。</p> <p>委員：熊本県建設技術センター代表 企業側の方には特に課題はないのでしょうか。 →事務局 電子成果品として作成する作業に時間がかかるという意見も出ております。 人の技術的なレベルアップを図れば解消するものでございますので、引続き教育をやっていきたいと考えております。 21年度の取組みにいろいろ反映させていくことを考えております。</p>	→了解	事務局 (池田)	

## 平成20年度熊本県CALS／EC推進協議会議事録

時間	議事 次第 番号	項目	報告・協議すべきこと	協議したこと	協議した結果	担当者
				<p>委員：熊本県土地改良事業団体連合会代表 達成状況と今後の見通しのところで、パイロット事業Bを実施し効果と課題を整理したと書いてありますが具体的に説明をお願いします。</p> <p>→事務局 資料2の19ページに情報化施工、web情報提供、3Dを使用した住民説明とか掲載しています。情報化施工については、3次元の管理をすることで、非常に現場の効率化が図られる状況は見えてきておりますが、3Dのための事前準備や3Dを前提とした管理、検査のあり方など課題もあります。たとえば、3次元設計データのトータルステーションへのインプットがスムーズにいかないとか、現在の検査規定が2次元を前提としており、その検査基準の不整合をどうするかなど課題も多いのですが、そういう環境整備が整えば現場の効率化が非常に計れることがわかりました。</p> <p>先進的な取組みも長期的な視点でやるということで、電子納品利活用ワーキングで今後のスケジュールも含めて検討したいと考えております。</p> <p>委員：熊本県土地改良事業団体連合会代表 今の時点での目標としては、何年度ぐらいには利用できそうな予定ですか</p> <p>→事務局 これは21年度の取組みの中で説明しますが、短期間でやれそうなやつをまずは検討していこうという部分と、時間がかかりそうなものについてはロスの少ないようなやり方でやっていくことを考えております。21年度の取組みとして協議事項の中で説明させていた</p> <p>アドバイザー：熊本大学 達成状況と今後の見通しの項目で、電子入札と電子納品利活用の話がありますが、利活用に関するところが項目としてあがっていない。利活用の戦略が、項目として必要ではないですか。</p> <p>→事務局 スケジュールは基本構想を作ったとき(平成15年度)のもので、大まかなスケジュールというところで作っております。 利活用等については、表のなかで「情報の利活用のための教育」という言葉で表現されています。 この段階の表現としてはそうなっているということです。</p>		

## 平成20年度熊本県CALS／EC推進協議会議事録

時間	議事 次第 番号	項目	報告・協議すべきこと	協議したこと	協議した結果	担当者
13:47	(3)	平成19年度推進協議会議事 事項対応状況について	資料1(p5～6) ●H19年度推進協議会議事項対応状況について		→了解	事務局
13:55	(4)	平成20年度幹事会の協議結 果について	資料1(p7) ●平成20年度幹事会協議結果報告		→了解	事務局

## 平成20年度熊本県CALS／EC推進協議会議事録

時間	議事次序号	項目	報告・協議すべきこと	協議したこと	協議した結果	担当者
	3	協議事項				
14:13	(1)	熊本県CALS／EC推進協議会規約別表の改正について	資料1(p8) ●協議事項(1) 熊本県の組織改変に伴う、農林水産部関連の規約別表1～3の改正	委員：熊本県土地改良連合会代表 業界委員で土地改良連合会は連合会会長になっていますが、資料2の方は常務理事となっています。どちらが正しいのでしょうか →事務局 資料2が間違っています。	→計画のとおり承認	事務局
14:18	(2)	平成21年度取り組み案について	資料1(p9) ●協議事項(2) 1)電子納品の市町村支援について [提案趣旨] 熊本県CALS／EC基本構想の整備スケジュールでは、市町村本格運用が平成23年度となっており2年後に迫っております。平成23年度までに電子入札については35市町村が参加を表明されておりますが、電子納品については本格運用にむけての取組みが遅れている状況です。これまでも市町村向けのCALS研修会を実施し延べ647名参加されておりますが、電子納品本格運用について市町村の理解が進んでいるとはいえません。このようなことをふまえ、多少積極的に市町村に働きかける必要があるのではないかと考えておりますが、推進協議会として合意形成が諮れるものか提案いたしました。	委員：市長会代表 行政側の事情でCALS／ECの導入が遅れてはいけません。業界が対応できるのであれば1日も早く電子入札の導入をすべきだと思います。 電子入札について市長会で話題になったことはありませんが、導入の呼びかけをやる必要があるならば、やれると思います。 委員：町村会代表 CALS/ECのメリットというのをよく理解出来ていないので、きちんと説明をしていただければ導入が進むような気がします。 →事務局 今後の市町村支援では、電子納品の役割やメリットなどもわかるよう留意したいと思います。  委員：熊本県建設技術センター代表 市町村にメリットを説明するところは重要になると思います。電子納品によりコスト縮減等が図れることを、うまく説明する必要があると思います。 →事務局 説明の工夫などやって行きたいと思います。	→計画のとおり承認	事務局
			資料1(p9) ●協議事項(2) 2)各地区電子納品連絡会議の活用について [提案趣旨] ・市町村の電子納品本格運用に向けた支援 電子納品の実態を振興局で見ていただくなど、従来の聞くだけの研修から、実務型の研修スタイルに変更し、具体的な電子納品のメリット等を感じていただくことを目標として連絡会議を活用することを提案します。 ・新システム運用上の課題を検討 2月から運用開始する情報交換共有システムについて、発注者(県)も受注者も不慣れのため連絡会議を活用し円滑な導入を図るとともに課題等の抽出を併せて行いたいと考えております。	委員：(社)熊本県建設業協会代表 電子情報交換共有システムの稼働で、紙と電子の2重提出等は完全になくなるんですか。 →事務局 完全電子化にはしばらく時間がかかりますが、出来るところから電子化していきます。  委員：熊本県建設技術センター代表 受注者側の方々に対する平成21年度の取組みはどうなりますか。 →事務局 各地区電子納品連絡会議を活用し、業界の支援や研修を行います。  委員：熊本県建設技術センター代表 組織の小さな受注者に対する支援はどうなっていますか。 →事務局 各地区電子納品連絡会議と技術センターの研修会等でフォローしていきたいと考えております。	→計画のとおり承認	事務局

## 平成20年度熊本県CALS／EC推進協議会議事録

時間	議事 次第 番号	項目	報告・協議すべきこと	協議したこと	協議した結果	担当者
			資料1(p9) ●協議事項(2) ③電子納品データの利活用について [提案議題] 先進的な取組みについてはまだ課題も多く、実務上の活用には時間がかかるものも多いため、早期に実用化を目指す短期的な視点と、中長期的視点で課題を整理していくものを分けて、電子納品利活用ワーキングを活用し検討したい。	アドバイザー：国土交通省九州地方整備局 データの実際の利活用の話ですが、後ほど講話の中で説明しようと思っておりましたが、私どももまったく同じ課題に直面しております。電子納品を積極的に進めてきましたが、実際に納められたデータを何にどういう形で利活用していくかという部分が少し遅れているかなというところがあります。	→計画のとおり承認	事務局
15:10	(3)	熊本県CALS／EC推進協議会 行動計画について	資料1(p10) ●協議事項(3) 平成21年度熊本県CALS／EC推進協議会行動計画について		→計画のとおり承認	事務局
15:15		九州地方整備局における CALS/ECの現状と課題について	資料4 アドバイザー：国土交通省九州地方整備局 アクションプログラム2008で「調査・計画・設計・施工・管理を通じて利用可能な3次元データの利活用」、「工事の一層の品質向上を図る情報化施工の推進」、「完全電子納品化に対応した品質検査技術の開発」などを目標にしております。	CALS／EC推進協議会長 協議会の平成21年度取組みの中で、国土交通省のアクションプログラム2008と重複する部分もあるようですので、県のワーキングにも国土交通省のノウハウを取り入れて効率的に検討を進めていく必要があると思います。国土交通省さんのご指導をよろしく願います。		アドバイザー 国土交通省 九州地方整備局
15:35		閉会	(座長) 推進協議会の協議事項につきまして非常に幅広い内容を提案させていただきました。電子納品は電子入札を支援するものだとことを含めて、メリットはどのようなものですよということを具体的に示しながらがんばってまいりたいと思います。 みなさまの貴重なご意見等踏まえまして平成21年度の実施事項に反映させていただきたいと思っております。 本当に今日は長時間ありがとうございましたお疲れ様でございました。			座長(高永)